

【1】次の(1)～(4)の四角形 ABCD について、平行四辺形になるものをすべて選びなさい。ただし、対角線の交点を O とします。

(1) $\angle B = \angle D$ 、 $\angle ACB = \angle CAD$ となる四角形 ABCD

(2) $OB = OD$ 、 $\angle OBA = \angle ODC$ である四角形 ABCD

(3) $AB \parallel DC$ 、 $\angle A = \angle C$ である四角形 ABCD

(4) $AB = DC$ 、 $AB \parallel DC$ である四角形 ABCD

(5) $BC \parallel AD$ 、 $AB = DC$ である四角形 ABCD

(1、2、3、4)

【2】平行四辺形 ABCD の辺 DC を延長した辺上に、 $DC = CE$ となる点 E をとります。このとき、四角形 ABEC が平行四辺形になることを証明しなさい。

四角形 ABCD は平行四辺形なので、

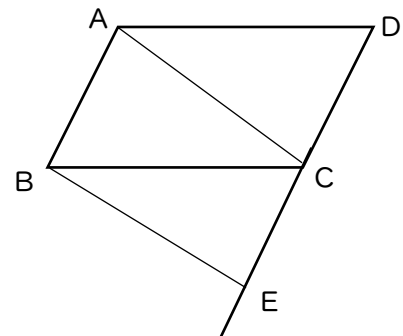
$$(AB) = (DC) \dots \textcircled{1}$$

また、仮定より $(DC) = (CE) \dots \textcircled{2}$

$$\textcircled{1}、\textcircled{2} \text{より、} (AB) = (CE) \dots \textcircled{3}$$

また、 $(AB) \parallel (DC)$ より $(AB) \parallel (CE) \dots \textcircled{4}$

$\textcircled{2}、\textcircled{4}$ より、(平行四辺形の1組の対辺が平行で長さが等しい) ので、四角形 ABEC は平行四辺形である。



※ $\triangle ACD$ と $\triangle BCE$ の合同を証明して、同様の結論にすることもできる。